

回覧

宮崎大学発 都農町かわら版

令和7年8月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

☆☆都農に来る宮大のひとたち紹介☆☆

みんな試験
頑張っや〜

教育学部数学科 4年生有志 都農中サマースクール数学塾講師

教育学部では入学前に専門教科を選びます。
数学や教える事が好きを生かしたい私たちは
小学校や中学校の教員になる免許を取るため
の教育実習や試験を終えたところです。あと
は結果を待つばかり。これから卒業論文に取り
組みます。県内で教員になった場合は、い
つか都農で教える日が来るかもしれません。

8/19~21の3日間、都農中学校でサマース
クール数学塾があり、参加生徒10~12名に
対して、教育学部4年生9名が各日4名ずつ講
師を務めました。9月に地区内で開催される
実力テストの過去問題の解き方解説、効率
的な時間配分などを教えました。中学生は
「わかりやすかった、自信がついた!」、
大学生は「反応してくれて教え甲斐があっ
た」とお互いに有益な時間だったようです。



サマースクール数学塾の様子

8/17 PBL企画 つの自然体験教室を 木和田地区にて開催しました

地域学部

PBL2年生が中心となって企画した小学生親子向けの夏休みイ
ベント「つの自然体験教室」を木和田公民館周辺で開催しました。
当日は、親子6組の参加者を迎え、学生8名、地区の方々合わせ総
勢約50名で、計画したそうめん流し、水遊び、竹工作の3プログラ
ムを学生が段取りしながら進めました。

2メートル以上の竹を割り、参加者で流し
台を作るところから行った流しそうめん
では、坂田町長も駆けつけ、皆で流れてくる
そうめんやブドウに歓声を上げながら楽し
く食べていました。午後は水遊びで涼を取
った後、流し台にした竹を使ってヨットと風鈴を
工作しました。



開催にあたり、事前うちあわせや準備など木和田の黒木正光
自治会長ご夫妻には大変お世話になりました。また、地区の自治会
役員や婦人会の皆様にも竹やおにぎりづくりなどご協力をいただき、
敬老会の方々の参加もありました。暑い中でしたが、地区の方々
と一緒に楽しんでくださり、子どもたちも夏の良い思い出になっ
たようでした。学生にとっても企画実践の良い学びとなりました。



地域学基礎 地域資源マップ完成!

5月に町歩きをした1年生23班の地域資源マップが完成し、
最終授業にて、クラス内投票による表彰発表がありました。
最優秀賞は、寺迫地区を探索した1班でした。優秀賞は、
明田~福原尾の9班、名貫・新今別府の13班が獲得しまし
た。それぞれに工夫を凝らした地区のマップが今年も出来
上がりました。ご自分の地区や町内の行ったことのない地
区などの地図を見ると、町の新たな発見があるか
もしれません。優秀作品も含めぜひご覧ください。

今年度の23マップを掲載したページはこちら→



教えて*ソーシン先生! *ソーシン先生 = 総合診療科医

問診の大切さ

みなさん、総合診療医が主役のドラマ「19番目のカルテ」は見ていますか？その中で毎回描かれるのは「問診」、つまり患者さんの話を丁寧に聞くことの大切さです。一般的な内科外来では、医師は患者さんの話を聞くだけ（問診）で7割、診察を加えると8割以上は病気を診断できるという研究結果があります。検査はその確かめや最終確認です。

診察のときは「こんなこと関係あるかな」と思う小さな変化や気づきも、ぜひ伝えてください。あなたの一言が診断のカギになり、早期発見や安心につながることもあります。



コラム

つまるケア講座 日常の一コマ by 桐ヶ谷先生

夏休みを利用して大阪・関西万博へ行ってきました。各国のパビリオンでは文化や暮らしの違いに触れ、国際交流の大切さを改めて実感しました。人気の大阪ヘルスケアパビリオンには入れませんでしたが、健康データをもとに25年後の自分をアバターで体験できる展示が話題です。もし入れていたら、どんな私とご対面だったでしょうか。

2040-2050年頃の私たちは、どんな社会に生きているのでしょうか。医療はどこまで進歩し、都農町の暮らしはどんな形になっているのか——想像するだけでもワクワクしますね。

8/7 都農町小・中学生大学訪問ツアー

夏休み恒例となった都農中学生の宮大訪問バスツアー。今年は初めて小学生5、6年生も対象として募集し、総勢25名（小学生10名、中学生7名、保護者8名）が宮崎大学を訪問しました。

午前中の農学部園芸利用学研究室の圖師教授による実験講座では、トマトの酸度・糖度・ビタミンCを測定し、美味しさを科学的に調べました。研究室の学生の指導サポートを受けながら、初めて触れる実験機器にドキドキした様子で取り組みました。



昼食は大学生協食堂での学食体験。地域学部の学生が使い方を教え、交流しながら楽しんでいました。午後は獣医学科と産業動物防疫リサーチセンターでの講話と見学で獣医師の多様な仕事について学びました。

また、学内バスツアーでは広いキャンパスを巡り、清武キャンパスに移動してドクターヘリを見学。間近で見る実際のヘリ飛行や試乗に歓声が上がリ、パイロットやドクターのお話に子どもも大人も興味津々に質問していました。小・中学生からは「大学に興味を持った」「初めてのことはばかりで貴重な体験だった」、保護者からも「子どもの今後の進路に役立ちます」と感想がありました。ご参加ありがとうございました。



8/19・20 小学生サマースクール by dotcube

6月に教育委員会より、小学生5、6年生サマースクールの初の試みとして、宿題ではなく大学生が企画する体験講座を提供してはどうかというご提案をいただきました。昨年より町内での講座実績のある文化部dotcubeの学生が、ボーカロイド（歌声合成楽曲制作ソフト）で音楽を作ろうという企画を考え、2日間で講座開催、親子5組が参加しました。

部員の工学部1年生荒木陽稀さんが講師となり、楽器音の選び方、リズムや音の出し方、歌詞のつけ方をレクチャーしました。各自メロディーを考えて作った後に、「都農町の良いところ好きなところ」「夏休みの思い出」をテーマに親子でキーワードを書き出し、作詩をして曲を作る体験をしました。



デジタル版

教育委員会 森崎先生のコメント

参加者にとっても、都農町の事業としても非常に有意義でした。大学生の進め方もとても上手で良かったです！

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2025年8月25日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つ未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つ未来財団）